

中村獅童と初音ミクの超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』 「第22回AMDアワード」で大賞/総務大臣賞を受賞 ～全69作品の中から最も優秀なデジタルコンテンツとして表彰～

松竹株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：迫本淳一）が株式会社ダウンゴ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：荒木隆司）と共同製作し、株式会社ダウンゴが主催するイベント「ニコニコ超会議2016」において上演した「超歌舞伎 Supported by NTT」の『今昔饗宴千本桜』が、3月13日（月）に国内唯一のデジタルコンテンツ表彰式「Digital Contents of the Year/第22回AMDアワード」にて、大賞/総務大臣賞を受賞したことをお知らせします。なお、授賞式は3月13日（月）に明治記念館にて開催されました。

「AMD Award」は、過去1年間に発売または発表されたデジタルコンテンツの中から、デジタルメディア業界の発展を目指し、優秀なデジタルコンテンツ等の制作者を表彰、その制作者個人あるいはグループの功績を讃える表彰式です。

この度、「AMD Award」にノミネートされた全69件の作品の中から大賞/総務大臣賞を受賞した「超歌舞伎 Supported by NTT」の上演演目は、ユーザーによってニコニコ動画に投稿され、いまや映画・舞台・小説などさまざまなメディアで人気を集めるボーカロイド楽曲「千本桜」と、歌舞伎の代表的な演目のひとつである「義経千本桜」がコラボレーションし、新たに超会議のために創作された新作歌舞伎『今昔饗宴千本桜』（読み：はなくらべせんぼんざくら）です。舞台では、歌舞伎俳優の中村獅童とバーチャル・シンガーの初音ミクが共演し（初音ミクはCG投影）、NTTの最新技術「kirari!」を使用し、中村獅童が演ずる「佐藤忠信」と、初音ミクが演ずる「美玖姫」が出会い、桜の木の下に織りなす物語を紡ぎました。

なお、同作の反響を受け、今年開催する「ニコニコ超会議2017」でも、第二弾となる「超歌舞伎」の新たな演目『花街詞合鏡（くるわことばあわせかがみ）』の上演が決定しています。前回につづき完全新作となる今回は、花街を舞台にした、獅童と花魁に扮したミクの恋物語。恋敵が登場し、2人の恋路を阻みます。

<中村獅童からのコメント>

若い世代に歌舞伎に少しでも興味を持って欲しいという思いからチャレンジした超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』が、AMD Awardのグランプリ・総務大臣賞を受賞し、出演者としては勿論のこと、数多くのスタッフの皆さんと共にこの作品を作り上げたひとりとしても、大変喜ばしく思っています。ダウンゴさんやNTTさんによる最先端のデジタル技術と、古典歌舞伎ならではの魅力が融合し、さらに初音ミクさん、ニコニコユーザーのお力も借りて、今回の作品は出来上がりました。「桜がっなげるキセキ。」というこの作品のフレーズのとおり、まさに桜がっなげた、多くの方々の力の結集であるこの作品から、次なる挑戦に繋げていきたいと思っています。

<AMD Award 受賞作品ページ>

<https://amd.or.jp/award/>

<『超歌舞伎 Supported by NTT』 概要>

- ◆演目名：今昔饗宴千本桜（読み：はなくらべせんぼんざくら）
- ◆出演者：中村獅童、初音ミク、ほか
- ◆脚本：松岡亮
- ◆演出・振付：藤間勘十郎
- ◆原作：・小説「千本桜」シリーズ
（原作：黒うさP/WhiteFlame、著・イラスト 一斗まる、
発行：株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス）
・歌舞伎「義経千本桜」（作：竹田出雲、三好松洛、並木千柳）
- ◆主催：ニコニコ超会議実行委員会
- ◆製作：松竹株式会社 / 株式会社ダウンゴ
- ◆制作協力：クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
- ◆超特別協賛/技術協力：NTT
- ◆公式サイト：<http://chokabuki.jp/>



超歌舞伎『今昔饗宴千本桜』メインビジュアル

<作品ストーリー>

大正百年の帝都桜京で、神憑特殊桜小隊の隊員として活躍する初音未來と桜小隊隊長の青音海斗。未來は美玖姫として、海斗は佐藤忠信として生きた時代があり、千本桜を守り抜くために、桜の花を奪っていった邪悪な青龍に立ち向かい…。『千本桜』をキーワードに「今」と「昔」をつなげる物語。

<『花街詞合鏡（くるわことばあわせかがみ）』概要>

【上演日程】2017年4月29日（土）、30日（日） 1部 13:00～ / 2部 16:00～（29日、30日両日ともに）
【上演場所】幕張メッセイベントホール